

がん放射線治療 看護セミナー

第6回テーマ：骨盤腔への放射線治療を受ける患者の看護；パート1  
～子宮頸がんへの照射を中心に～

- 開催日程：2008年2月23日(土)  
開催場所：大阪国際交流センター 大阪市天王寺区上本町8-2-6 TEL06-6772-6729  
募集方法：日本放射線腫瘍学会ホームページから受け付ける。  
応募が募集人員に達した時点で締め切る。  
日本放射線腫瘍学会ホームページアドレス：<http://www.jastro.jp/>  
募集人数：350名  
参加費：5,000円（日本放射線腫瘍学会もしくは日本がん看護学会会員）  
8,000円（非会員）

### はじめに

がん医療の中で放射線治療は根治から症状緩和まで多くの患者にとって重要な役割を担っている。放射線治療を受ける患者が増加する中で、「放射線」に対する根強い誤解や知識不足による不安を抱いている患者も多い。このような不安を和らげるために、看護師が事前にわかりやすい言葉で生活に即した指導を行うことは有用である。これは患者のセルフケアを促進することにもつながる。また、放射線治療を受ける患者は他のがん治療と同様に種々の有害事象を経験する。しかし、有害事象の多くは適切なアセスメントと効果的なケアの提供で症状を予防、もしくは低減させることが可能となる。一方、放射線治療には放射線治療医や診療放射線技師など多くの医療者が関わることも特徴のひとつである。医療者間の患者を中心としたコミュニケーションを図るために、看護師が重要な役割を担っている。

これらのことを看護師が実行するためには知識が必要であるが、その知識は専門的で広範囲に及び、臨床では習得する機会が少ない現状である。そこで、患者が安心して適切な放射線治療を受けられるように、看護師への放射線治療の知識の普及を目的として本セミナーを継続して開催している。

### 第6回セミナー開催にあたって

第1回及び第2回はほとんどの患者が経験する「皮膚炎」を、第3回からは参加者アンケートで要望の高かった「口腔・咽頭粘膜炎」「骨転移」をテーマとして開催し、いずれも参加者から高い評価を頂いた。「骨盤腔への照射」も参加者アンケートの上位項目からテーマを決定した。

骨盤腔には複数の臓器が存在し、照射の際には多様な有害事象が観察される。また、有害事象は排泄やセクシャリティに関連するため患者にとっては症状を訴えにくいという側面を持ち、このような患者へのケアに看護師の果たす役割は大きい。今回はパート1として「子宮頸がん」を中心に取り上げ、今後は「前立腺がん」、「直腸がん」などを企画する予定である。

本セミナーでは、放射線治療を受ける患者への適切なアセスメントならびに効果的な看護実践のために必要な骨盤腔への放射線治療についての知識と情報を提供する。

### セミナーの目的

がん放射線治療に関する看護の質向上を図るために、適切なアセスメントならびに効果的な看護実践に必要な知識を提供する。

### 第6回セミナーの到達目標

- 1) 子宮頸がんへの放射線治療の特徴、作用・有害事象出現のメカニズムを含む基礎知識を理解する。
- 2) 放射線治療の基礎知識および骨盤腔への放射線治療を受ける子宮頸がん患者が抱える問題について理解することにより、適切なアセスメントならびに効果的・効率的な看護実践を結び付けて考えることが出来る。

### セミナーの構成

- 1) 放射線治療に関する基礎知識、疾患の病態と治療法、看護ケアについて概説し、最後のセッションは参加者に提示してもらった症例や質問を講師や他の参加者を含めてディスカッションする。
- 2) 最後のセッションの実施にあたり「骨盤腔へ放射線治療を受ける子宮頸がん患者」の看護ケアに苦慮した症例と質問等について、当日会場にて配布するアンケートを記入後に回収する。

## カリキュラム

時間	内容	講師	備考
～9:30	Information	(総合司会；午前) 北原 規 昭和大学藤が丘病院 放射線科教授 (総合司会；午前) 阿部 恵江 北里大学病院看護主任がん看護専門看護師	
9:30～9:35	開会の辞	土器屋 卓志 埼玉医科大学放射線腫瘍科教授	5分
9:35～10:25	<b>1. すぐに役立つ放射線治療の原理</b> 放射線治療がんに効く理由、放射線治療の有害事象について子宮頸がん注目し分子～人体レベルで解説する。	平岡 眞寛 京都大学放射線腫瘍学・画像応用治療学教授	50分
10:25～10:30	休憩		5分
10:30～11:00	<b>2. 婦人科がんの全体像</b> 婦人科系の悪性疾患の臨床的特徴などについて子宮頸がんを中心に説明する。	伊東 久夫 千葉大学放射線科教授	30分
11:00～11:05	休憩		5分
11:05～11:55	<b>3. 子宮頸がんへの放射線治療；外照射</b> 子宮頸がんへの外照射の特徴と照射方法について最新の知見を基に、急性および遅発性反応を含めて概説する。	播磨 洋子 関西医科大学放射線科教授	50分
12:05～12:45	ランチョンセミナー 身近なガラスバッチのお話	(株) 千代田テクノル	
		(総合司会；午後) 早川 和重 北里大学病院放射線科教授 (総合司会；午後) 濱口 恵子 癌研有明病院副看護部長	
13:00～13:50	<b>4. 子宮頸がんへの放射線治療；小線源治療</b> 小線源治療の特徴について概説し、子宮頸がんの具体的な照射方法、有害事象などを解説する。	茶谷正史 大阪労災病院第2放射線科部長	50分
13:50～13:55	休憩		5分
13:55～14:45	<b>5. 看護ケア；身体的ケア</b> 子宮頸がんの放射線治療を受ける患者の急性および遅発性有害事象のアセスメント、看護計画立案、効果的・効率的な看護ケアを身体症状について具体的に説明する。	北川 善子 岡山大学病院 看護師	50分
14:45～14:50	休憩		5分
14:50～15:40	<b>6. 看護ケア；メンタルケア</b> 子宮頸がん放射線治療を受ける患者が持つ心理社会的問題について概説し、効果的な看護ケアについて具体的に解説する。	石原 純子 静岡県立静岡がんセンター 看護師	50分
15:40～15:50	休憩		10分
15:50～16:50	<b>ディスカッション・質疑応答</b> 患者の看護問題とその解決へのアプローチについて、参加者から回収した症例と質問を中心に講師と受講者でディスカッションする。	(司会) 角 美奈子 国立がんセンター中央病院放射線治療部医長 (司会) 喜多 みどり 東京都立府中病院 放射線科部長 (司会) 立石 久留美 (独) 東京医療センター 看護師長	50分
	閉会の辞	小松 浩子 聖路加看護大学 成人看護学教授 日本がん看護学会 理事	

予告

	日程	開催地	テーマ
第7回	08年10月4日(土)	東京	骨盤腔への放射線治療を受ける患者の看護；パート2 ～前立腺がん・直腸がんへの照射を中心に～
第8回	09年2月	大阪	乳がんへの放射線治療